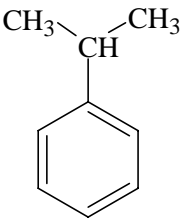


既存化学物質安全性(ハザード)評価シート(要約版)

整理番号	99 - 13	官報公示 整理番号	3 - 6	CAS 番号	98 - 82 - 8
名 称	イソプロピルベンゼン 別名：クメン 2-フェニルプロパン		構 造 式		
分子式	C ₉ H ₁₂		分子 量	120.19	
<p>市場で流通している商品(代表例)¹⁾</p> <p>純 度 : 99.9%以上</p> <p>不純物 : ノネン類、n-プロピルベンゼン</p> <p>添加剤又は安定剤：無添加</p>					
<p>物理・化学的性状データ</p> <p>外 観：無色液体²⁾</p> <p>融 点：-96²⁾</p> <p>沸 点：152²⁾</p> <p>引 火 点：43.9³⁾</p> <p>発 火 点：420</p> <p>爆発限界：0.9～6.5%</p> <p>比 重：d₄²⁰ 0.862⁴⁾</p> <p>蒸気密度：4.14(空気 = 1)</p> <p>蒸 気 圧：3.2 Pa(0.02 mmHg)(20⁵⁾)</p> <p>分配係数：log Pow；3.66(実測値)⁵⁾、3.57(計算値)⁵⁾</p> <p>加水分解性：加水分解を受けやすい化学結合なし</p> <p>解離定数：解離基なし</p> <p>スペクトル：主要マススペクトルフラグメント m/z 105(基準ピーク, 1.0)、120(0.25)、77(0.13)⁶⁾</p> <p>吸脱着性：土壌吸着係数 log Koc = 3.45⁷⁾</p> <p>粒度分布：該当せず</p> <p>溶解性：イソプロピルベンゼン/水；50 mg/ℓ (20⁵⁾) アルコール、エーテル、ベンゼンなどの有機溶媒に可溶。</p> <p>換算係数：1 ppm = 5.00 mg/m³ (気体, 20⁵⁾) 1 mg/m³ = 0.200 ppm</p>					

総合評価

1) 危険有害性の要約

ヒトにおいては、急性影響として、頭痛、めまい、耳鳴り、運動失調、意識障害、昏睡がみられ、呼吸障害、心室細動により死亡する場合もある。また本物質は皮膚、眼に対し刺激性を有する。また、慢性影響として肝臓障害が報告されている。

実験動物においては、吸入暴露によって中枢神経系の抑制がみられている。反復暴露では腎臓への影響が報告されている。ウサギの皮膚、眼に対して刺激性を有する。変異原性試験では、*in vitro* で陽性との報告がある。発がん性については評価されていない。

本物質は環境中に放出された場合、大気中でのOHラジカルとの反応による半減期は数日以内、オゾンとの反応による半減期は約3年と計算される。水圏では主として生分解される。環境庁のモニタリングデータでは水質、底質及び魚類から検出されたことがある。水圏環境生物に対する急性毒性は藻類、甲殻類及び魚類で強い。

2) 指摘事項

- (1) ヒト及び実験動物において中枢神経系の抑制がみられる。
- (2) 皮膚、眼に対する刺激性がみられる。

参考資料

- 1) (社)日本化学工業協会調査資料(1999).
- 2) 化学辞典, 東京化学同人(1994).
- 3) 後藤稔, 池田正之, 原一郎編, 産業中毒便覧・増補版, 医歯薬出版(1991).
- 4) 有機合成化学協会編, 有機化学物辞典, 講談社(1985).
- 5) Richardson, M.L. et.al., The Dictionary of Substances and their Effects, Royal Society of Chemistry(1992-1995).
- 6) 分配係数計算用プログラム“C Log P”, アダムネット(株).
- 7) Hazardous Substances Data Bank(HSDB), U.S.National Library Medicine(1998).